

(注) こちらのプリントを SNS に掲載することや出力したものをオークションで転売することはおやめください。

2021年2月5日 第3回国語解説 本郷祭過去問解説

制作責任者 生徒会役員

1,本郷の国語の受験のコツ

●時間配分

㊦漢字やその他 10分 ㊧説明文 20分 ㊨物語文 20分(これが MAX の時間)。

●本郷の国語の問題の特色

- ・塾で練習しているような普遍的な国語の問題。
- ・㊦に漢字問題が最大5問。㊧、㊨は一般的な問題で、各大門に記述が最大2個ずつと、漢字や意味問題が出る。

●国語の問題に共通する心構え

- ・急ぎ過ぎず、かつ慎重になり過ぎない。
- ・読解問題は、先に問題に目を通し、大体の問題を見る。漢字を書いたり語句の意味を答えたり、あるいは文を挿入する問題は読みながら解く。(普通の記号問題もできそうであれば読みながら解く。)

2,解説

㊦ 漢字

- ① たわら 例 米俵、土俵など
- ② 築く
- ③ 祝賀会 祝う会のこと
- ④ 忠誠 忠実+誠実 嘘などせずしっかりやること
- ⑤ 洗礼 あることについて初めて経験する大きなこと

㊧ 説明文 ※基本的には「筆者の主張⇔世間の主張」の構図で、その筆者の主張をいかに詳しく正しく読み取るかがカギとなる。

問一

- A 後に例を出しているので、「たとえば」のイ
- B 後ろに「あくまで」とあり、前の話に注意を足しているので、「ただし」のA
- C 話題を変えているので「一方で」のエ

問二 筆者の主張を聞かれている。傍線直後「～過剰な感じが～」とあり、その後「確実に自信を持てる方法などないという証でしかない～」とあるので、ウが正解。

問三 傍線前「不測の事態が起きた時の対処マニュアルといった、既知の知識で対応～自信の根拠は増えていきます。」また、傍線後「～これから起きることは必ず未知の出来事で、本当は過去の既知では対応できないからです。」とある。また、その後の具体例の後「自信の持ち方を知れば知るほどに不信と不安～思います。」とあるので、この内容を含んだイが正解。

問四 傍線前「あくまで～見られました」に書いてある内容と一致するので、ウが正解。

問五 この傍線前後の文の構造は、「職人の働き方⇔そうではない働き方」なので、傍線前「ノウハウを知り、情報を刷新するとは～つながります。」とある。よってこれと逆のことを言っているウが正解。

問六 傍線内に「情けない」というのがあり、これを解説するのがカギとなる。傍線後「そうした自分の中で発生し、活発さを奪う重力に～『自分はダメだ』とは違う抜け道が見えてくるのではないのでしょうか」とあり、この話に沿っているのがエ。

問七 記述問題。

● 字数制限のある記述は、字数制限の9割で書くようにしよう

例)85文字以内なら80文字程度を目指そう。

問題文に「『盲信』と『自信』の違いを明らかにして説明せよ」と書いてある。

文の構造として

「職人→徹底したこだわりを持つ自信⇔職人を適当に真似する→言うこととやっていることが一致しない妄信」

それぞれを詳しく説明する。

解答例)「言っていることとできることが一致しないまま適当に自分を信じ込む

ことが妄信だが、徹底したこだわりを持って自分のやりたい事と向き合い続けることで体得されるのが自信。」(80文字)

問八 問題文の構成についての問題。

●このような問題があった場合は、読みながら解くことができるので、最初に問題に目を通す

文の構造を大きく分けると

「自分で意識して自信を持つのは不可能→職人の
根拠のない自信→自身と向き合って生まれた体に宿る自信→揺るぎない自信とはどのようなものか」

となっているので、こう説明しているウが正解。

㊦ 物語文 ※主人公や主要人物の心情把握が大事。その心情は、時間の経過、人物の登場や減少など、様々な要因から変わる。

問一

- A 頭を抱える 意味 思い悩む等
- B 肩を落とした 意味 落ち込む
- C 鼻が高い 意味 自慢気、誇らしい等

問二(説明のみ)

●そのものの意味が分からなくても、本文の文脈から判断できる。

a 「そんな」気持ちとは裏腹に

→波線部前「～有意義で、天職とってよかった。」

→「裏腹に」は逆説

よって「仕事の良さは感じるが～」という内容のウが正解。

●指示語の差す内容をしっかり読み取ろう。

b 「がむしゃら」にがんばっていた

→夢中で何かのためにがんばっている

→波線前「ぼくは今～一発屋なんて絶対に言われたくなかったから、」

自分のプライドのために夢中でやっているの、ア。

c 「ためつすがつ」検分した

→片目で見たり、じっと見つめたりしてよく細かく観察して、よく検査した。

なので、正解はア。

問三 「じっとりした不安」を読み解く。

→正体のわからない差出人から目的のわからない手紙が届き、最近上手く行っていない自分の状態とかみ合っている。

これを述べているイが正解。

問四 何を「警戒していた」のか、何が「信じられなかった」のかをはっきりさせることが大事。

→傍線前より、「杉山が自分をいじめていたいじめっ子だった」ことがわかる。

その杉山が素直に自分をほめるとは考えられずに警戒していた。しかし、「杉山は、ぼくをいじめたことを覚えていないらしかった。」とあり、素直に再会を喜ぶ杉山を信じられないでいた。

よってウが正解。

問五 ●問題文をよく読む→当てはまらないもの一つ

傍線後「それは屈辱であり怒り～喜びでもあった。」

とあり、二種類の対比的な心情が描かれている。それぞれの理由まで考えて判断する。

屈辱であり怒り→ずっと一人でいじめの辛さと戦っていたことに対して

安堵であり喜び→杉山が気さくな人間に変貌しており、今後嫌がらせを受けることはない

この三つが当てはまるのはア、イ、ウ。

よって当てはまらない一つはエ。

問六 ●抜き出し問題→一字一句まったく同じように書き写す

A 自分が小学五年生の頃に未来の自分に向けて手紙を書いている様子についての説明

→文章冒頭「五年生のあとき～いじらしくけなげに思う」とある。

よってAは「いじらしくけなげ」である。

B 問六の文に「その頃に抱えていた～」とあり、これは杉山にいじめられていたことを指す。

また、そのような感覚と「同じような」とあるので、「杉山からのいじめの記憶＝手紙がなくなり先が見えない不安」となるので、本文二枚目「明日が見えない不安」が正解。

問七 ●記述問題→特にこのような物語文で、二種類の重要な名詞(未来の手紙と悪の手紙のように)があるとき、主語を明確にして記述を書く。

記述全体の簡単な構造としては、

普段の生活がうまくいかなくなり、悪魔の手紙が届いて不安になる。

↓

昔のトラウマの元の人物に出会うが、気さくな人間に変わっていた。

↓

自らが投函を頼んだことを思い出す。しかし、理由を思い出せない。

↓

裏面に何か書いたことを思い出す。→「オマエハツツヨイ」

↓

励まされて、勇気をもらう。

これをさらに詳しく書いて解答する。

解答例)「『悪魔の手紙』に書いた小さな文字に気づき、昔の自分に励まされたと感じ、これからは手紙に頼らず生きていこうと考えている。」(59文字)

3,後述

ここまでで解説は終わりです。ぜひこの解説を役立てて、本郷中学校に合格してください！夏を耐えて9月を迎えた君たちは強いです！合格は目前です。後の5ヶ月自分を全力で追い込んで頑張ってください！

合格を心より祈っています！